

日本経済入門Ⅱ

科目ナンバリング ECP-102

選択必修 2単位

小林 成弘

1. 授業の概要(ねらい)

本講座では「日本の産業革命と経済発展」をメインテーマとし、幕末の開国から今日に至るおよそ160年の間に日本の産業・経済がどのようにして西欧の近代技術を吸収し発展を遂げてきたのか、また諸外国との経済的依存関係の深まりの中で日本がどのような経済問題に直面してきたのか学ぶことを通じて、現代の日本経済が抱える様々な経済問題を歴史的視点と地理的(国際的)視点の両面から理解する素養を身につけていくことを目指します。

春期は、近代経済の原点ともいえる大航海時代の株式会社誕生の歴史から講義を始め、その後イギリス産業革命期に発展した大規模工場制機械工業について学びます。さらに、これら近代的経済システムが幕末の開国を契機に日本にも広がり、その後第二次世界大戦に至る80年足らずの間に急速に西欧社会にキャッチアップしていった歴史過程を振り返りながら、明治日本の産業革命の歴史的意義や日本の経済産業発展の秘密を探っていきます。

秋期は、第二次世界大戦で廃墟と化した日本がその後どのように復活し、「日本の奇跡」と呼ばれた高度経済成長を達成することができたのか、さらに、1970年代後半に突如高成長時代が幕を閉じることとなった日本が、その後どのような経済問題に直面するようになったのかを学びます。これら一連の講義を通じて、今日の日本が抱える様々な経済問題(累積する国債発行、製造業の国際展開等)は、実は過去の経済的事象、とりわけドル・ショック(ニクソン・ショック)やオイル・ショックなどの国際経済環境の激変が直接的・間接的な引き金となって今日まで影を引きつづけていることを学んでいきます。

2. 授業の到達目標

グローバル化した国際経済社会の中で日本は今どのような状況に置かれているのか、また、日本の近代経済成長の歴史の中で今日の日本はどのように位置づけられるのかを、受講者それぞれが自分なりにストーリーを描いて人に説明できるようにしてもらいたいと思います。

3. 成績評価の方法および基準

期末に行うペーパーテストの成績を基礎点とし、これに普段の授業への取り組み姿勢(出席状況、義務的課題の実施状況、任意レポート提出など)をボーナス点として加算して総合評価を行います。ただし、以下の事項に該当する場合は大幅減点とします。

①授業中の私語など、他の学生に悪影響を及ぼすあらゆる「迷惑行為」

②授業における出席偽装、テストにおけるカンニング、レポート等におけるネット情報等のコピー＆ペーストなど、あらゆる「不正行為」

4. 教科書・参考文献

教科書

【テキスト】テキストは特に指定しませんが、参考文献は講義の都度紹介します。

参考文献

浅子和美・篠原総一郎編 『日本経済入門』 (有斐閣)

南亮進 『日本の経済発展』 (東洋経済)

中岡哲郎 『日本近代技術の形成―“伝統”と“近代”のダイナミクス』 (朝日選書)

石井寛治 『日本の産業革命―日清・日露戦争から考える』 (講談社学術文庫)

5. 準備学習の内容

講義は基本的にパワーポイントを使って進めます。パワーポイントの資料はその都度縮刷版をプリント配布しますが、その内容は多岐にわたり分量も多くなりますので、授業に出席せず後で資料だけに頼って勉強しようとしても重要なポイントを掴み切れず講義の全体像を理解することは到底不可能です。必ず毎回授業に出席して講義をしっかりと聴き、メモをとり、何が重要なのか、どのように話が展開されるのかを自分の目と耳と頭で整理しながら理解していくように努めて下さい。なお、講義内容について各自の理解を深め知識の定着を図るため、授業の際に時々練習問題プリントを配布します。

特に提出は求めませんが、受講生はそれら課題に自主的・積極的に取り組むことを強く勧めます。

6. その他履修上の注意事項

単に授業を聞くという受け身の姿勢ではなく、講義を通して自分の関心や疑問を掘り起こし、原典や関連文献または統計データに直接あたって調べたり確認してみるといった積極的な姿勢で取り組むことを期待します。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 第二次世界大戦と戦後復興 |
| 【第3回】 | ブレトンウッズ体制とGATT体制 |
| 【第4回】 | 戦後アメリカ経済の変調とニクソン・ショック |
| 【第5回】 | 日本のエネルギー革命①(石炭産業の興隆) |
| 【第6回】 | 日本のエネルギー革命②(石油産業の誕生) |
| 【第7回】 | 日本のエネルギー革命③(戦争と石油) |
| 【第8回】 | 日本のエネルギー革命③(戦後高度経済成長と石油) |
| 【第9回】 | 石油ショックと新自由主義の台頭 |
| 【第10回】 | 「大きな政府」から「小さな政府」の時代へ |
| 【第11回】 | 激しさを増す日米貿易摩擦 |
| 【第12回】 | プラザ合意と円高不況 |
| 【第13回】 | 平成バブル |
| 【第14回】 | バブルの崩壊と失われた20年 |
| 【第15回】 | まとめ／テスト |